

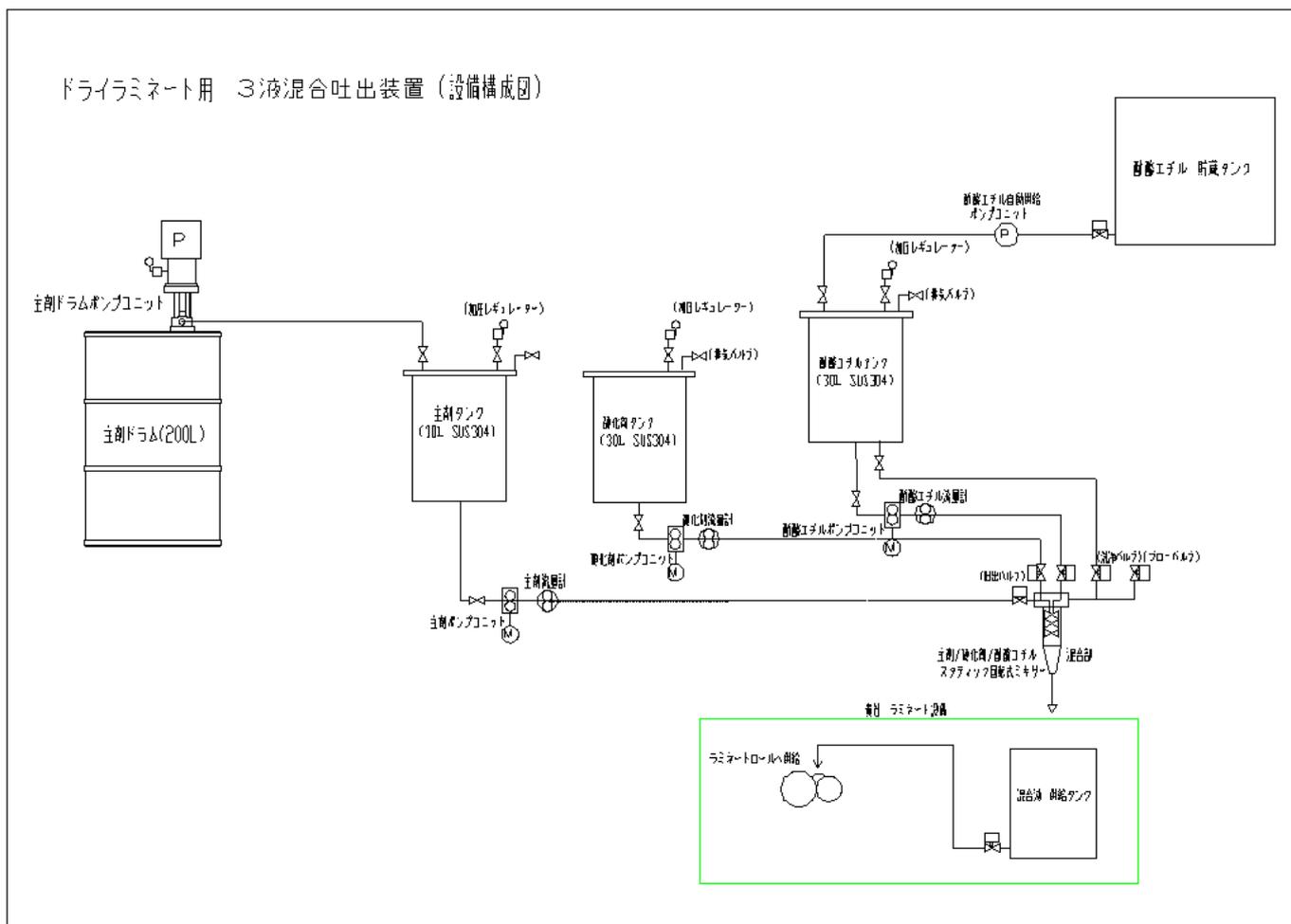
TECMIC



ドライラミネート用 3液混合吐出装置

◆ TECMIC 3液混合装置の特徴

- 1) 精密ギアポンプにて、低圧吐出を行う為、正確な混合比にて吐出可能である。
- 2) ドラム缶やコンテナから、材料タンクへの自動供給が可能で材料供給中も、連続作業が行える。
- 3) ガロン缶、一斗缶などの廃棄物にかかる費用を、大幅に減らすことができる。
- 4) 個々に送液された材料を、先端部で直前混合する為、材料のロスが減らすことが可能である。
- 5) 湿気硬化型の材料も、常時密閉化にて管理しているため、材料タンク等の洗浄は不要である。
- 6) 日常メンテナンスは、ミキシングノズルのみで、作業時間（清掃、メンテ）の短縮が可能である。
- 7) 塗布ロール、混合液タンクの容量に追従して、混合吐出可能な為、材料のロスが少ない。
- 8) 流量計、圧力計にて材料の混合比（吐出量）を制御、監視できる為、正確な配合が可能。
- 9) 実計量後は、流量計により吐出量、配合比の可変が操作パネル部の数値入力にて変更可能。
- 10) 記録媒体と接続すれば、日々の材料の混合比、使用量等のデータを保管できる。
- 11) ドラム缶からタンク、ノズル先端部までは、密閉状態の為、作業環境の改善が可能である。





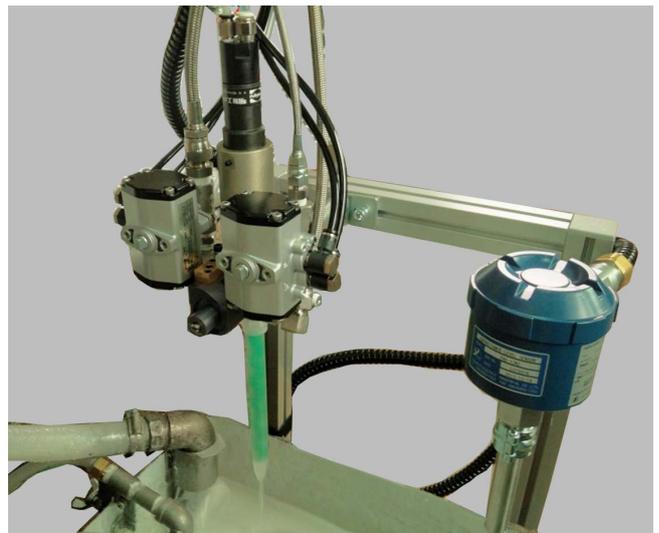
材料タンク（主剤／硬化剤／酢酸エチル）はステンレス製密閉式となっており、日常メンテナンスは不要です。



各材料はギアポンプによる定量吐出にて送液され、吐出時の流量を、流量計により常時監視を行っています。



材料の供給は主剤はドラム缶より、硬化剤は一斗缶より酢酸エチルは工場外の貯蔵タンクより供給が可能です。



混合タンクの液量に追従し、混合液を吐出する為、ロスが少なく回転式スティックガンは、メンテナンスも容易です。

計量画面				メニュー	警報	異常
吐出	流量値	回転数	計量時間			
主剤	0.00 mL	77.0 rpm	0.0 10.0 秒			
酢エチ	0.00 mL	103.0 rpm				
硬化剤	0.00 mL	34.0 rpm				
32%		30%	28%			

吐出量の設定はタッチパネルにて行います。
%の変更で酢酸エチルの配分量が自動的に変更できます。